

# 梵鐘を守れ!

—文化財保護をめぐる戦時下の裏面史—



太平洋戦争のさなか、武器生産などの軍需に必要な金属資源の不足をまかなうために、不要不急の鉄・銅や合金製品を回収する金属類回収令が公布されました。家庭内のあらゆる金属品とともに、寺院の仏具や梵鐘も供出を命じられたのです。当時滋賀県庁に在籍していた文化財技師の日名子元雄さんは、かけがえのない文化財を後世に残すため、梵鐘の救出に奔走しました。その経緯は「金属回収除外申請」という綴りにまとめられ、密かに県教委文化財保護課に伝えられてきました。この文書からは戦争協力に流れる当時の世相に抗って梵鐘を守ろうとした日名子さんの苦闘が伝わってきます。戦時下に県民がしいられた苦悩の一断面を解説していただきます。

**井上氏からのメッセージ** 平和な現代日本に住む私たちは、文化財を守ることが当たり前のことのように考えがちです。ところが70余年前の国民は、文化財を戦争遂行のために利用することを選びました。金属回収による梵鐘など工芸品の「供出」です。しかしながら、地域の中には大切な先祖伝来の文化財を何としてでも守りたい、と考える人々もいました。それらの人々は熱心に県へ供出の除外認可を求め、申請を受けた文化財担当者もまた、文化財を守ろうとする地域の熱意に応えようとしたのです。ところが、保護の動きに反発した人々との間で厳しい葛藤が生じます。

地域文化財を守った戦時体制下の知られざる記録を通して、文化財を守ることの真の意義について、改めて考えてみたいと思います。

平成29年(2017年)

**10月22日(日)** 13時30分～15時00分

滋賀県平和祈念館 研修室

講師 滋賀県教育委員会 文化財保護課

主幹 井上 優 氏

- プロフィール：全国国宝重要文化財所有者連盟専門委員、元栗東歴史民俗博物館学芸員
- 著 書：『近江の文化と伝統』(2010・共編)  
『滋賀県謎解き散歩』(2013 中経出版・共著)  
『1冊でわかる滋賀の仏像』(2015 サンライズ出版・共著)



会場：滋賀県平和祈念館 (東近江市下中野町431番地)

お問い合わせ・お申し込みは、平和祈念館まで。

電話：0749-46-0300 ファックス：0749-46-0350

メール：heiwa@pref.shiga.lg.jp

- ・定員は80名です。(申し込み先着順)
- ・お申し込みは、電話、ファックス(裏面をお使いください)、メールでお願いします。
- ・その際は、お名前、お電話番号、ご住所をお知らせください。
- ・参加費は無料です。

平成 29 年度 平和学習講座

「 梵鐘を守れ！ —文化財保護をめぐる戦時下の裏面史— 」

参加申込書

10月22日（日）に開催される 平和学習講座「梵鐘を守れ！—文化財保護をめぐる戦時下の裏面史—」に （ ）名で参加します。
お名前（代表者）
ご住所
お電話番号

滋賀県平和祈念館 FAX 番号 〇 7 4 9 - 4 6 - 0 3 5 0

おかけ間違いのないようにお願いします。

戦争体験を聞く会のご案内

9月10日（日）13:30～

「近江八幡への疎開と大阪空襲」

吹田市在住・樋口良次さん（昭和7年生まれ）

10月15日（日）13:30～

「一式陸攻操縦士として要務飛行に携わり…

- 硫黄島・国内各地 -」

草津市在住・田中 修さん（大正11年生まれ）

11月12日（日）13:30～

「ウルップ島から北サハリン・オハ捕虜収容所へ」

甲賀市在住・山中隆一さん（大正10年生まれ）

地域交流室展示のご案内

○児童生徒向け体験型学習展示

\*戦争と戦時下の生活を体感できる体験展示。

9月9日（土）～12月24日（日）

滋賀県平和祈念館 位置図

